

担当 《 6 年 2 組 》

武蔵野市立第五小学校

<p>学力調査と学校経営方針からみた授業改善の方向性【言語活動の充実】</p>	<p>各教科等における言語活動の充実を中心とした指導の実際</p>
<p>《学力調査から》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」は高い意欲があり、「交流」を活用するとよい。 ○「身の回りのことをグラフや表で整理して考える」活動を各教科で推進する。 ○「分からないことや興味をもったことを進んで調べる」活動などを発展的な学習に入れる。 <p>《言語活動の充実に向けて》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体験から感じ取ったことを表現する ②事実を正確に理解し伝達する ③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり、活用したりする ④情報を分析・評価し、論述する ⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する ⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる <p>《言語活動の指導の在り方》</p> <p>(1)知的活動(論理や思考)に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事実を正確に理解し、他の人に的確に分かりやすく伝える ○事実等を解釈し説明するとともに、互いの考えを伝え合うことで、自らの考えや集団の考えを発展させる <p>(2)コミュニケーションや感性・情緒に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ○互いの存在についての理解を深め、尊重していく ○感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりする 	<p>○学習の見通しと学習の振り返りの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画、授業のねらいを提示し見通しをもって学習できるようにする。 ・作品や学習感想を交流し合い、観点を明示して自己の改善点を意識できるようにする。 <p>○言語環境を整える工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な言葉遣いの指導を行い、丁寧な言葉で詳しく伝え合うことに慣れていくようにする。 ・「聞く」ことを重視し、他者の意見を最後までじっくり聞こうとする態度を身につけさせる。 ・丁寧に作品作りを行わせる。表現方法、言葉遣い、熟語、慣用句等を掲示・展示を通して身につけられるようにする。 <p>○自分の考えをもたせる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で児童が発言できる機会をできるだけ多く設定する。 ……資料から気づいたことを発表する、知っている事柄を交流する、説明する、討論をする ・自ら調べてまとめる活動を多く取り入れ、自らの選択・意思決定ができる機会を多く設定する。 <p>○言語活動の具体的な工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙を増やすために、言葉の意味調べ・言葉の分類・短文作りを計画的に行う。 ・言葉を音や色、形、自己の体験による感情などにつなげてイメージ豊かにとらえられるようにする。 ・漢字学習を通して言葉への関心を高める。 ・図書室を有効に活用して調べ学習に取り組ませる。